

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）		科目名	臨床医学各論 1	
科目基礎情報							
開設学科	鍼灸科	コース名				開設期	後期
対象年次	1年次	科目区分	必修			時間数	30時間
単位数	2単位	授業形態	講義				
教科書/教材	臨床医学各論（第 2 版） 医歯薬出版社						
担当教員情報							
担当教員	大下 裕之			実務経験の有無・職種	有・鍼灸師		
学習目的							
臨床活動をおこなう上で必要な知識である「疾患」に関する知識を、現代医学的な観点から理解する事を目的とする授業である。これは病態の把握や鍼灸治療の適応不適応の鑑別は勿論、予後の推察や他の医療機関との情報交換を行う際には必要なものであり、鍼灸臨床で診る機会が少ない分野の疾患も含め、広く疾患に関する知識を習得することがこれからの鍼灸師に求められている。							
到達目標							
「消化器疾患」「肝・胆・膵疾患」「循環器疾患」についての知識を理解する事を目的とする。具体的には各疾患について、性差や好発年齢などの疫学、疾患を引き起こす原因、それが加わるにより起こる病的変化とそれにより出現する臨床症状、単純 X 線や C T 検査などの画像診断や血液所見などの診察所見、薬物療法や外科的手術などの治療法、その後疾患がどのように変化していくのかを推察する予後などについて学習する。							
教育方法等							
授業概要	消化器疾患、肝・胆・膵疾患、循環器疾患について疫学、成因、症状、検査所見、治療、予後について学習するが、それらを系統立てて考えず、用語を暗記してしまう事が多い。そのためどういう機序で症状や所見が出現したのかという病態把握をしっかり理解することに重点をおいた授業をしていく。またイラストや写真などを多く用いることでより理解度を深めながら学習していく						
注意点	授業日数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。講義時間に無連絡で20分以上遅れた場合、受講はできるが出席の扱いをしない。明確な理由が無い早退は出席したとは認めない場合がある。 課題は、本科の規則に従った形式で提出する。特定の指示が有る場合を除いて、手書きでの作成を原則とする。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	100%	期末試験				
	小テスト						
	レポート						
	成果発表 （口頭・実技）						
	平常点						
授業計画（1 回～1 5 回）							
回	授業内容		各回の到達目標				
1 回	消化器の構造と機能		消化器の構造と働きの概要について理解する				
2 回	食道疾患		食道疾患の疫学、成因、症状、所見、治療、予後などについて理解する				
3 回	胃・十二指腸疾患		消化性潰瘍と胃炎の疫学、成因、症状、所見、治療、予後などについて理解する				
4 回	胃・十二指腸疾患		胃癌の疫学、成因、症状、所見、治療、予後などについて理解する				
5 回	腸疾患		腸炎、 I B S、虫垂炎の疫学、成因、症状、所見、治療、予後などについて理解する				
6 回	腸疾患		大腸癌、イレウスの疫学、成因、症状、所見、治療、予後などについて理解する				
7 回	腸疾患		潰瘍性大腸炎、クローン病の疫学、成因、症状、所見、治療、予後などについて理解する				
8 回	肝臓、胆嚢、膵臓の構造と機能		肝臓の概要、そして肝炎の疫学、成因、症状、所見、治療、予後などについて理解する				
9 回	肝臓疾患		肝硬変、肝癌、劇症肝炎の疫学、成因、症状、所見、治療、予後などについて理解する				
1 0 回	胆嚢疾患		胆石・胆嚢炎、胆嚢癌の疫学、成因、症状、所見、治療、予後などについて理解する				
1 1 回	膵臓疾患		膵炎、膵臓癌の疫学、成因、症状、所見、治療、予後などについて理解する				
1 2 回	心臓の構造と心不全		心臓の構造と機能、心不全の疫学、成因、症状、所見、治療、予後などについて理解する				
1 3 回	心臓弁膜症		心臓弁膜症の疫学、成因、症状、所見、治療、予後などについて理解する				
1 4 回	心内膜疾患		心膜炎の疫学、成因、症状、所見、治療、予後などについて理解する				
1 5 回	先天性心疾患		先天性心疾患の疫学、成因、症状、所見、治療、予後などについて理解する				